

JR指宿枕崎線の魅力 再発見!



松ヶ浦駅に停車する「キハ 47」車両。
昭和 50 年代に造られた車両ですが、
メンテナンスが行き届き 40 年近く
たった現在も現役です。

本市にも、8つの駅があることをご存じでしょうか。頴娃地域から知覧地域にかけて駅があります。駅周辺には、観光スポットや思わず撮影したくなる景色が広がっています。令和 3 年、29 年ぶりに県立自然公園に指定された海岸線と、遠くに見える島々とともに、ゆっくり時間を過ごしてみませんか。

鉄道は地域の貴重な資源です。今回の特集では、JR 指宿枕崎線の魅力や存続に向けた本市の取り組みについて紹介します。

JR 指宿枕崎線は、鹿児島中央駅から枕崎駅まで全長 87・8 キロを結んでおり、錦江湾に沿って薩摩半島の海岸線を進むルートで、車窓には風光明媚な景色が続きます。また、南薩地域沿線各市の産業振興と地域活性化、さらには地域住民の通勤・通学など日常の生活路線として必要不可欠な路線もあります。

昭和 38 年 10 月 31 日、沿線住民の待ち望んだJR 指宿枕崎線が全線開業しました。

昭和 38 年 10 月 31 日、沿線住民の待ち望んだJR 指宿枕崎線が全線開業しました。



列車で広がる世界



西頬娃駅

頬娃町内にある有人駅で、頬娃地域の中心地に最も近く乗降客が多い。コンクリート造りの駅舎は小ぶりであるが、本市では唯一の駅舎が残る駅！

③頬娃駅付近



頬娃駅

頬娃町郡にある無人駅で、周辺は田園の広がるのどかな場所にある。また、近くには景勝地である瀬平公園やサーフィンを楽しむ人たちに人気の前原海岸がある。



至指宿駅



④番所鼻自然公園

かつて番所と呼ばれる薩摩藩の検問所が置かれたことからその名が付いた景勝地で、江戸後期、日本地図を作成した伊能忠敬が“天下の絶景”と称賛したとされるスポット。火山活動と海の浸食によって生まれた円形の岩礁は、竜宮城の入り口だったという伝説が残っている。



②前原海岸



①瀬平自然公園

老松の葉陰から眺める開聞岳（薩摩富士）は市内屈指の景観を誇り、硫黄島、竹島、遠くは屋久島までを遙か洋上に眺めることができます。昭和4年にこの地を訪れた与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑もある。

本市には、頬娃駅、西頬娃駅、御領駅、石垣駅、水成川駅、頬娃大川駅、松ヶ浦駅、薩摩塩屋駅の合計8つ駅があり、路線図からも分かるように海岸沿いに位置しています。西頬娃駅以外はすべて無人駅となっていますが、どの駅も地元自治会の清掃活動などにより、きれいに保たれています。

有人駅の西頬娃駅では、駅舎内の窓口で手書きの切符が販売されており、ファンの間で密かな話題となっています。また、山川駅から枕崎駅までは単線区間ですが、西頬娃駅構内には線路が2線あり、指宿方面からの折り返し列車が設定されているのも特徴です。運が良ければ、駅のホームで2両の車両に出会うことがあります。

観光の目玉となり得る西頬娃駅ですが、近くに高等学校があることから、通学のために学生も多く利用しています。地域にとってJR指宿枕崎線は生活交通の一部であり身近な存在です。駅以外にも、沿線には魅力がいっぱいです。観光地として、よく取り上げられる場所や列車と撮影したくなるようなスポットもたくさんあります。一番のおすすめは、小気味よいリズムで列車に揺られながら、車窓から眺める景色です。何気ない地域の日常も窓越しからは、まるで別世界のようで、新緑の季節は緑のトンネルにも驚かれます。

JR指宿枕崎線を支える車両にも特徴があります。市内を颯爽と走る白のボディに青の帯があります。アクセントの列車名は「キハ47」。昭和50年代に造られ、どこか昭和レトロな車両は、乗客をノスタルジーに浸らせます。観光列車の特急「指宿のたまて箱」号としても「キハ47」車両が活躍しています。

本市には、頬娃駅、西頬娃駅、御領駅、石垣駅、水成川駅、頬娃大川駅、松ヶ浦駅、薩摩塩屋駅の合計8つ駅があり、路線図からも分かるように海岸沿いに位置しています。西頬娃駅以外はすべて無人駅となっていますが、どの駅も地元自治会の清掃活動などにより、きれいに保たれています。

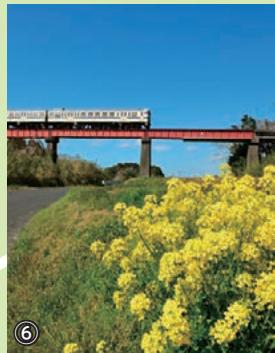
有人駅の西頬娃駅では、駅舎内の窓口で手書きの切符が販売されており、ファンの間で密かな話題となっています。また、山川駅から枕崎駅までは単線区間ですが、西頬娃駅構内には線路が2線あり、指宿方面からの折り返し列車が設定されているのも特徴です。運が良ければ、駅のホームで2両の車両に出会うことがあります。

観光の目玉となり得る西頬娃駅ですが、近くに高等学校があることから、通学のために学生も多く利用しています。地域にとってJR指宿枕崎線は生活交通の一部であり身近な存在です。駅以外にも、沿線には魅力がいっぱいです。観光地として、よく取り上げられる場所や列車と撮影したくなるようなスポットもたくさんあります。一番のおすすめは、小気味よいリズムで列車に揺られながら、車窓から眺める景色です。何気ない地域の日常も窓越しからは、まるで別世界のようで、新緑の季節は緑のトンネルにも驚かれます。

JR指宿枕崎線を支える車両にも特徴があります。市内を颯爽と走る白のボディに青の帯があります。アクセントの列車名は「キハ47」。昭和50年代に造られ、どこか昭和レトロな車両は、乗客をノスタルジーに浸らせます。観光列車の特急「指宿のたまて箱」号としても「キハ47」車両が活

**撮影する場合は、
マナーやルールを守りましょう！**

- ①線路内へ絶対に立ち入らず、列車には必要以上に近づかない。
 - ②沿線住民の迷惑となる行為は行わない。
(路上駐車、田畠やあぜ道への立ち入りなど)
 - ③撮影ポイント移動時の無理な運転はしない。



県内11のノミネートから、松ヶ浦自治会が取り組む「JR指宿枕崎線開闢岳を望める駅松ヶ浦駅」の活動が見事大賞に輝きました。無人駅をはじめ、周辺の清掃や雑草の除去など美観維持活動に取り組んでいます。



第2回あなたが選ぶかごしま景観大賞



水成川駅

穎娃町別府にある無人駅で、番所鼻自然公園やタツノオトシゴハウスからも近い。

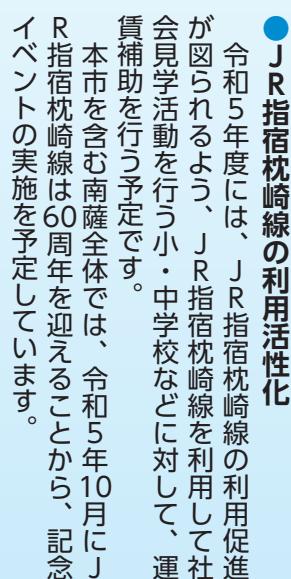


兵主（いとう）



さつましおや
薩摩塩屋駅

至枕崎駅



●JR指宿枕崎線の利用活性化

なっています。本期成会は、沿線市の産業経済の発展と利用者の利便性の向上を目的として、利用促進事業などに取り組んでいます。

今年1月には指宿枕崎線シンポジウムを顕娃文化会館で開催し、えちごトキめき鉄道社長の鳥塚亮氏による講演会およびトークセッションを行いました。

●JR指宿枕崎線輸送強化促進期成会

本市は、JR指宿枕崎線の沿線自治体（南九州市・鹿児島市・指宿市・枕崎市）で構成され

とで、JR指宿枕崎線の存続を図っています。そのほかにも休日臨時営業として、不定期でイベントを行っています。



◆鉄道模型走行会



▲イベントの様子

南九州市の取り組み

全国的にもローカル線の利用者減少を取り上げられますが、本市での取り組みについて、3例紹介します。

